



第 33 号

平成29年 9月12日

発行 宮城県多賀城  
高等学校同窓会  
翔朋会

# 課題の分離

翔朋会会長 及川佳洋



この夏は梅雨明けが特定できないほど不順な天候続きでしたが、皆様には様々な方面におかれましてますます活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃より同窓会には多大なるご支援とご協力をいただき心から感謝申し上げます。今や同窓会も会員数一二〇〇〇名を数え、会員の皆様の活躍の場も多方面にわたっています。それぞれに奮闘努力されておられると拝察され、誠に喜ばしい限りですが、日々の仕事や人間関係で疲れたり、悩んだりということもあろうかと思えます。私自身これまで何度もそんな場面に直面し、苦しんだり悩んだりしてききました。そんなある時にであったのが「課題の分離」という言葉であります。

オーストリアの心理学者アルフレッドアドラーの「個人心理学」と言われる考えの中に出てくる言葉ですが、これは、人は一人で生きてゆくことなど原理的にありえず、社会的な文脈においてのみ「個人」となる。そのために目標とすべきは「個人としての自立」と「社会との協調」である。この目標を達成するために「仕事」「交友」「愛」という三つの課題を乗り越えよ、という考えです。

この考えについての全貌はともここでは書ききれませんが、今日ご紹介する「課題の分離」は対人関係のトラブルを少なくする方法として共感すべき点が多くありました。それは、「その課題は誰の課題なのか」という分析と「他人の課題に首を突っ込まない」ということ、さらに「自分の課題に首を突っ込ませない」ということの三点です。誰の課題なのかは、最終的に結果にコミットするのは

**題字紹介**  
「翔朋」の題字は元本校教諭石山静代先生の筆によるものです

誰かを考えることで容易に理解できません。それが他人の課題ならば、口を出さずその人に任せる。ただしほったらかしにするのではなく助けを求められたら全力で援助する旨は伝えておく。

つまり、自分自身の課題を自分で解決し、他者の課題は他者に任せろ、ということですが、しかも、自分の課題を解決した結果に最終的に責任を持つのは自分自身であり、他者がどう感じようとそれは他者の課題であるから斟酌しなくてよい、ということのようです。

課題の分離がアドラーの考えのすべてではありませんが、一人一人が自分の人生の主人公となつて自由に生きることが出来るのだとしたら、それが自立ということなのかと思えます。「私は他者の期待を満たすために生きているのではない」「他者もまたあなたの期待を満たすために生きているのではない」「自らの信じる最善の道を選ぶこと」私たちに出来るのはそれだけのようです。

私たちは自分の人生を生きています。私は、自分を主人公として信じた道をこれからも進んで行きたいと思っています。

## 第39回 翔朋会総会のご案内

日時 平成29年10月14日(土)  
総会 18:00~18:30  
懇談会 18:30~20:30  
会場 ホテル・キャッスルプラザ多賀城  
会費 5,000円(当日会場で徴収致します。)  
※ただし39回生は1,000円

- 同封のFAX用紙もしくはメール(アドレスはFAX用紙に記載)で9/29(金)までにお申込下さい。
- 今年度の幹事回生は、以下の4つの回生の方々です。同期の方をお誘いの上、ご参加ください(下記以外の回生の方もご参加いただけます)。  
9回生(昭62年3月卒業)  
19回生(平9年3月卒業)  
29回生(平19年3月卒業)  
39回生(平29年3月卒業)

## 翔朋会役員(案)

会長	及川佳洋	1回生
副会長	石橋和雄	2回生
副会長	渡辺文昭	3回生
副会長	瀬戸口真弓	4回生
監事	高橋和人	5回生
監事	武田三弘	8回生
監事	梅津英久	2回生
会計	出雲輝章	事務室長
書記	針生美由紀	4回生
書記	横山卓哉	8回生
幹事	大内昭浩	4回生
幹事	菊地紀栄	6回生
幹事	千坂成也	7回生
幹事	磯比呂志	8回生
幹事	本郷和重	8回生
幹事	植杉淳一	15回生
幹事	見立屋雅子	26回生
参与	佐々木克敬	校長
参与	佐藤彰彦	教頭
参与	菊田英孝	教頭
事務局	佐竹明浩	総務部長
事務局	國府正之	総務部長
事務局	蜂谷加代子	総務部長
事務局	菊田みどり	総務部長
事務局	同窓職員	23回生

## 事務局からのお知らせ

・年会費二〇〇〇円の納入にご協力ください。翔朋会の運営を充実させるため、母校の発展のために使わせていただきます。

・平成28年度より同窓会のHPを開設致しましたので、ぜひご覧ください。

・HP開設に伴い、紙による会報の郵送を止め、HP掲載に変更致しました。予算削減、情報発信の迅速化のためです。ご理解とご協力を願います。

・お、年会費を納入していただいた方には、紙による会報を従来どおり送付致します。

・卒業後の住所変更等は随時受け付けております。お名前や卒業年度(回生)、変更後の住所をご記入の上、FAXやメールにて事務局へご連絡下さい。

事務局の連絡先は  
TEL 022-366-1255  
FAX 022-366-1226  
E-mail: chief@tagajo-hs.myswan.ne.jp  
になります。

# グローバル化に どう応えるか

校長 佐々木克敬



同窓生の皆さまにおかれましては、益々ご活躍のことと存じます。また、日頃から母校に対し多くのご支援を頂戴しておりますことに心から感謝申し上げます。お陰さまで、在校生は学習活動や部活動、学校行事等に生き生きと取り組んでいます。今年度の進路実績や高校総体等の成績については、会報の詳細を御覧ください。

昨年度、災害科学科が開設され今年春新学科の二回生が入学して参りました。半年が経過しましたが、一回生に負けず劣らずの活躍を見せてくれています。学科開設と平行して普通科も含めた全学で様々な取組を行っています。今年二月にはユネスコスクールの加盟について認可されました。国際化、グローバル化に対応した学校の取組充実が提言されてから、かなりの年月が経過してはいますが、多くの学校で教育の国際化については遅々として進みませんでした。小学校に英語が導入され、これをきっかけにその歩みも加速されるかも知れません。本校

では、国際化を意識してユネスコスクールの掲げる持続可能な開発のための教育（SDG）を意識した学習を行っています。特に「防災学習」「自然科学学習」「国際理解学習」の3つを柱とした、教科横断的な学習を行っています。今や教科横断的な学習は世界のスタンダードになっていきます。これらの教科横断的な学習で養われる力は、おそらく卒業生の方々がまさに日々取り組んでいく力につながると思います。単に教科書の知識だけではなく、刻々と社会情勢が変化する中で、そこに見られる課題は何なのか、この課題は何なのか、これらの要因のうちで一番影響を及ぼすものは何なのか、この複雑系に立ち向かう力です。そこで本校では知識をどのように身につけていくのか、実践するののかという授業や実習を多く取り入れていきます。よろしければ、諸先輩方の活躍や社会の課題を直に特別授業や課題研究の指導者として、後輩達に伝えていただきたいと思います。

また、自分たちの学習成果、活動成果を発表する機会も増えていきます。二〇一五年の国連防災世界会議、二〇一六年高知での世界津波の日高校生サミット、二〇一七年には沖縄で開かれる同サミットや東京で開かれたOPECED生徒国際イノベーションフォーラムなどの国際的なフォーラムにも参加しています。その他、東京、青森、福島等で行われるフォーラムや、新潟や富山の高校からの招待の機会を得ることが出来ています。これら

の機会で生徒は誠実にそして堂々と発表を行って来ています。是非、機会がありましたら、発表会場でこのような頼もしい後輩に声をかけていただければ幸いです。

まさに、多賀城高校はパイロットスクールとして防災・減災学習をキーワードとして、これから社会で期待される学習を実践する学校となっております。グローバル化に対応した「未来の創造者」としての歩みを在校生は始めています。このような卒業生の礎を創っていただいた卒業生の皆様に感謝し益々の御活躍をお祈りするとともに、これからも一層の御支援と御声援をいただければ幸いです。

## 2月部

### 南東北インターハイに出場して

二年一組 佐藤 拓都

今回のインターハイは、公式練習を含め練習段階ではほとんど外すことなく、思い通りの射ができていたため、非常に自信を持った状態で本番に臨むことが出来ました。しかし、優勝という目標を達成できずに、決勝戦で敗退という結果に終わってしまいました。実際に試合に出場して、全国レベルの試合は普段感じないようなほんの些細な気持ちの乱れが生じてしまいい、それが大きく射に表れてくるものだと学びました。また、観客席から試合を観戦して、結果を出した選手達が集まっている中で実力を発揮できたのはわずかな人数で、全国大会の緊張感の高さやプレッシャーを感じました。

私は、新人戦と来年の高総

## 陸上部

### 東北大会を終えて

三年六組 小松 瑠伽

私は山形県天童市で行われた東北大会に、走高跳で出場してきました。私が東北大会という大きな舞台で競技をすることができたのは、ご指導して下さった顧問の先生、いつも支えてくれた家族、共に競い合い励まし合ってきた仲間がいたおかげです。

県総体当日の練習では、思うように体が動かず正直焦っていました。走高跳はバーを3回落とすと失格になります。私は序盤の1m51cmでバーを1回落とし、重圧に負けそうになりました。しかし、スタンドで応援してくれる仲間が私の励みになり、気持ちを切り替えることができた。3位に入賞することができました。

東北大会では良い結果を残すことができず悔しい気持ちもありますが、最後まで戦い抜けたのは良かったです。後輩たちには悔いの残らない大会ができる様、練習に取り組んでほしいです。応援しています。

最後に、支え、応援して下さいました方々、ありがとうございます。

## 放送部

### みやぎ総文祭2017に参加して

一年一組 新井田 菜那

私たちは8月3日・4日に行われた「放送部門」の運営

スタッフとして参加しました。県内ほとんどの高校の放送部員が運営に携わり、多賀城高校には「大会の映像記録」と、「大会会場からの中継」業務が割り振られました。

「中継」は大坂芸術大学から提供して頂いた最新のテレビ中継車内で、会場に設置された複数のテレビカメラの映像を切り替え、発表者の氏名をテロップで挿入したり、さまざまな画像を加えて、再び会場と審査員室に送り返すという業務で、操作ミスが審査に影響してしまうという非常に神経の使うものでしたが、それだけやりがいがあり、また、通常であれば絶対に触れることのできない最新の機材を操作できるということも貴重な経験をすることができました。

また、映像の記録は、全国から訪れたたくさんの方の高校生や、それを迎える宮城県の高校生の活躍する姿をレンズを通して見つけることができました。また、インタビュを通じて全国の高校生とコミュニケーションをとることができました。さらに「頑張っ」と声をかけていただくこともあり、とても励みになりました。

慣れない機材操作、緊張の連続などで大変な思いもしましたが、それだけに「責任感」を身につけたりすることができ、大きく成長できました。とりわけ「四十七年に一度」しか宮城県で行われることのない機会に恵まれたことは非常に貴重な経験になりました。

今度は運営スタッフではなく、全国大会への出場者という立場で全国高等学校総合文化祭に参加できるように頑張っていきたいと思えます。

# 2017 県高校総体結果

## ☆男子ソフトテニス部

団体戦  
1回戦 VS 仙台二華③ 1-0  
2回戦敗退 VS 仙台育英 1-2  
個人戦  
1回戦敗退  
高田・澁谷ペア VS 白石 2-4  
3回戦敗退  
小林・遠藤ペア VS 東北学院 3-4  
宮下・寺島ペア VS 東北 0-4

## ☆女子ソフトテニス部

団体戦  
1回戦 VS 宮城広瀬② 1-1  
2回戦敗退 VS 古川 0-2  
個人戦  
1回戦敗退  
相馬・佐藤ペア VS 石巻 3-4  
三橋・奥山ペア VS 宮城 1-4

## ☆男子硬式テニス部

団体戦  
1回戦敗退 VS 仙台三 0-2

## ☆女子硬式テニス部

団体戦  
準々決勝敗退 VS 気仙沼 0-2  
ベスト8

## ☆男子バレーボール部

個人戦  
6回戦敗退  
内海円花 VS 聖和 1-8  
ベスト16

## ☆女子バレーボール部

1回戦 VS 柴田農林② 1-0  
2回戦 VS 二華② 1-1  
3回戦敗退 VS 明成 0-2  
ベスト16

## ☆男子バドミントン部

団体戦  
1回戦敗退 VS 亘理 1-3  
個人戦  
シングルス  
1回戦敗退 須田  
2回戦敗退 佐藤(旭)  
3回戦敗退 佐藤(駿)  
ダブルス  
1回戦敗退 鎌田・穴戸  
須田・千葉  
設楽・菊池  
3回戦敗退 佐藤(旭)・佐藤(駿)

## ☆女子バドミントン部

団体戦  
1回戦 VS 村田③ 1-0  
2回戦 VS 東北 0-3  
個人戦  
シングルス  
1回戦敗退 菅野、工藤  
2回戦敗退 佐々木  
3回戦敗退 齋藤  
ダブルス  
1回戦敗退 竹田・佐藤  
2回戦敗退 齋藤・平野  
3回戦敗退 佐々木・工藤  
菅野・成田

## ☆男子バスケットボール部

1回戦 VS 迫桜 101-84  
2回戦敗退 VS 白石 43-74

## ☆女子バスケットボール部

地区予選  
代表決定戦  
VS 利府 33-125  
VS 白百合 55-44  
VS 学院榴ヶ岡 49-83  
VS 塩釜 28-71  
VS 仙台城南 27-69

## ☆男子卓球部

地区予選敗退

## ☆女子卓球部

団体戦  
1回戦敗退 VS 中新田 0-3  
個人戦  
シングルス  
2回戦敗退 佐々木

## ☆サッカー部

1回戦敗退 VS 東北学院 0-1

## ☆ラグビー部

1回戦敗退 VS 白石工 17-27

## ☆ソフトボール部

1回戦敗退 VS 仙台高校 1-6

## ☆男子剣道部

団体戦 予選リーグ敗退  
VS 古川工 1勝4敗  
VS 宮城 1-3 敗2分  
個人戦 1回戦敗退 千葉、友田

## ☆女子剣道部

個人戦 2回戦敗退 菅原

## ☆男子陸上部

やり投げ 第8位 金澤

## ☆女子陸上部

走高跳 第3位 小松(東北大会出場)  
100mハードル 準決勝敗退 齋藤

## ☆男子弓道部

団体戦 ベスト8  
個人戦 優勝  
佐藤 拓都(インターハイ出場)

## ☆女子弓道部

団体戦 予選敗退

## ☆男子山岳部

団体戦 第3位(東北大会出場)

## ☆女子山岳部

人数不足によりオープン参加、第2位相当

## ☆男子柔道部

個人戦  
73kg級 1回戦敗退 阿部  
100kg級 ベスト25 長谷

## ☆女子柔道部

団体戦 ベスト8  
(vs 東北 0-3 VS ●柴田 0-3)  
(vs ○白石 2-1)  
個人戦  
70kg級 ベスト8 佐藤  
78kg級 ベスト8 長谷(り)、長谷(ま)

## ☆男子水泳部

木村 200m個人メドレー 第9位  
400m個人メドレー 第4位  
(東北大会出場)

## ☆女子水泳部

女子総合第8位  
阿部 100m平泳ぎ 第5位  
千坂 100m背泳ぎ 第7位  
200m平泳ぎ 第7位  
200m背泳ぎ 第5位  
狭間 200m平泳ぎ 第11位  
100m平泳ぎ 第14位

### ◎今年進路状況 (合格者のべ人数)

国公立大学・大学校	46
私立大学	369
国公立短期大学	1
私立短期大学	17
専修(各種)学校・その他	34
就職(公務員)	10
合計	477

## 今年度の異動

★退職者  
小泉 博 校長 退職

### ★転出者

木村 敬二 教諭 仙台南  
櫻井 知大 教諭 高校教育課  
國分 修司 教諭 泉松陵  
石川 薫 教諭 古川  
菅原 健久 教諭 宮城一  
菅原 伸泰 事務室長 東部振興事務所  
伏見 祐子 主幹 仙台東  
佐尾 恭子 主査(司書) 県図書館  
佐藤 壮 講師  
正木 智也 非常勤講師  
梅田 千穂 非常勤講師  
小川原麻美 スクールカウンセラー  
近藤 稔和 推進コーディネーター  
小林 拓世 推進コーディネーター  
高砂 猛 情報活用支援員  
青沼しく子 緊急学校支援員

### ★昇任者

佐々木克敬 校長 教頭

### ★転入者

菊田 英孝 教頭 高校教育課  
菅原 広康 教諭 松島  
内田 元 教諭 加美農業  
松浦 進一 教諭 石巻  
高橋 謙人 教諭 南郷  
千葉 智仁 教諭 柴田  
出雲 輝章 副参事兼事務室長 石巻工業  
齊藤麻里江 主査(司書) 名取北  
土井 幸恵 主事 泉館山  
油井 拓也 講師 新規採用  
安齋 彰悟 非常勤講師 新規採用  
佐藤 壮 緊急学校支援員 新規採用  
小林 拓世 心のケア支援員 新規採用

平成28年度 翔朋会一般会計 決算報告

平成28年 4月1日～平成29年 3月31日

- 1. 収入の部 2,017,003円
- 2. 支出の部 929,223円
- 3. 残 高 1,087,780円

1. 収入の部 (単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
会 費	1,100,000	1,092,000	▲ 8,000	2,000円×273人 卒業時入会金 2,000円×273人 卒業時金費
年度会費	2,000	132,150	130,150	同窓会費(70名分)
繰越金	784,845	784,845	0	前年度繰越金
雑収入	155	8,008	7,853	寄附金 8,000円 預金利息 8円
合 計	1,887,000	2,017,003	130,003	

2. 支出の部 (単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
1. 運営費	55,000	42,628	▲ 12,372	
会議費	15,000	15,360	360	会議用お茶等
通信費	15,000	6,760	▲ 8,240	役員会等案内通信費
需用費	25,000	20,508	▲ 4,492	入会式次第紙代他
2. 事業費	1,575,000	686,595	▲ 888,405	
総会費	200,000	50,304	▲ 149,696	総会告知記事掲載料他
会報費	696,000	209,385	▲ 486,615	会報印刷費
補助費	400,000	206,000	▲ 194,000	東北大会以上大会出場補助
記念品費	249,000	220,906	▲ 28,094	卒業証書ホルダー 150,906円 入学生校章 70,000円
慶弔費	30,000	0	▲ 30,000	
3. 予備費	57,000	0	▲ 57,000	
4. 繰り出し金	200,000	200,000	0	周年行事のための積立金
合 計	1,887,000	929,223	▲ 957,777	

残 額 1,087,780円 次年度へ繰越し

平成29年度 翔朋会一般会計 予算書 (案)

- 1. 収入の部 2,202,000円
- 2. 支出の部 2,202,000円

1. 収入の部 (単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
会 費	1,112,000	1,100,000	12,000	2,000円×278人 卒業時入会金 2,000円×278人 卒業時金費
年度会費	2,000	2,000	0	同窓生より振込
繰越金	1,087,780	784,845	302,935	前年度より
雑収入	220	155	65	預金利息
合 計	2,202,000	1,887,000	315,000	

2. 支出の部 (単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 運営費	65,000	55,000	10,000	
会議費	20,000	15,000	5,000	役員会会議費
通信費	15,000	15,000	0	役員会等通信費
需用費	30,000	25,000	5,000	紙、ファイル等
2. 事業費	1,597,000	1,575,000	22,000	
総会費	200,000	200,000	0	総会補助
会報費	700,000	696,000	4,000	会報発行・発送 530,000円 HP維持管理 66,000円 他
補助費	400,000	400,000	0	遠征費補助
記念品費	267,000	249,000	18,000	卒業証書ホルダー (H29卒業生) 多高校章バッジ (H29入学生)
慶弔費	30,000	30,000	0	
3. 予備費	340,000	57,000	283,000	
4. 繰り出し金	200,000	200,000	0	周年事業積立金
合 計	2,202,000	1,887,000	315,000	

平成28年度 翔朋会特別会計 決算報告

- 1. 収入の部 2,824,639円
- 2. 支出の部 0円
- 3. 残 高 2,824,639円

1. 収入の部 (単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
繰入金	200,000	200,000	0	周年行事のための積立として一般会計より繰入
繰越金	2,624,604	2,624,604	0	前年度繰越金
雑収入	396	35	▲ 361	預金利息
合 計	2,825,000	2,824,639	▲ 361	

2. 支出の部



平成28年度は事業なし

残 額 2,824,639円 次年度へ繰越し

監 査 報 告

平成28年度翔朋会会計に関する収支帳簿と証書類を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成29年 6月15日

監事 高橋 和人   
 監事 武田 三弘 

平成29年度 翔朋会特別会計 予算書 (案)

- 1. 収入の部 3,025,000円
- 2. 支出の部 0円

1. 収入の部 (単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
繰入金	200,000	200,000	0	周年行事のための積立一般会計より繰入
繰越金	2,824,639	2,624,604	200,035	前年度繰越金
雑収入	361	396	▲ 35	預金利息
合 計	3,025,000	2,825,000	200,000	

2. 支出の部

平成29年度は事業なし

